

## 競技上の注意事項

### ◆ 全般について

1. 本大会は、令和4年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程に基づき実施します。
2. シャトルコックは試打してありますので、選択することは認めません。また、マッチ中の交換は主審の判断によります。
3. 進行状況により、試合開始時刻及びコートを変更して行うことがあります。放送のコールに十分注意してください。
4. コート入場後の公式練習は、試合ごとに、ダブルスはパートナー同士、シングルスは対戦者同士により、3分間以内の練習を認めます。
5. 競技中は大会運営規程第24条により上衣背面中央に文字の大きさ6cm～10cm、横30cmの範囲内に県名のみを明示してください。ゼッケンを使用する場合は縦15cm、横30cmを基準とし四隅を止めてください。
6. タオル、ラケット、水分補給容器等は各自持参したバッグ等に入れてください。
7. 試合中の水分補給等は、インターバル時以外は原則認めません。
8. プレーが不当に中断しない範囲であれば、主審の判断で素早いタオルの使用や給水を許可されることがありますが、必ず主審の許可を得てください。
9. 競技フロアでの携帯電話の使用は禁止します。また、モバイル機器を使用しての試合中のアドバイスやコーチングは認められません。
10. コーチの服装については公認審判員規程第3条第12項(8)に基づき試合(マッチ)にふさわしい服装で臨んでください。チームユニフォーム、シャツ、ポロシャツ、ブラウス、長ズボン、スカート等を着用してください。ただし、東北選手権については7分丈の長ズボンを認めます。
11. 競技進行が遅れている場合は、コートを並行して試合を行うことがあります。  
※第2シングルス戦に同一選手が連続して試合を行う場合は、ダブルス戦の試合が終了して10分後に開始します
12. 国体ブロック予選においては、ステンスルマークを施したラケットの使用は認められません。

### ◆ 東北選手権について

1. 組合せ決定後の選手変更は、一切認めません。
2. 選手は、コールされたら速やかにコートに入って下さい。
3. 試合開始前の練習は、各種目の初試合に限り3分間とします。この場合、一方の選手だけが初試合であっても両者に練習を認めます。
4. 同一選手の試合が連続する場合は、15分間のインターバルを取ります。

## 審判上の注意事項

1. 審判員は、令和4年(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
2. 審判員は、主審及び線審2名で行います。ただし、国体ブロック予選については、サービスジャッジを設けます。個人戦については、要請があった場合にレフェリーが判断します。
3. コートが汗等で濡れて危険と主審が判断した場合は、その処置を指示します。
4. すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。また、第1ゲームと第2ゲーム間、第2ゲームと第3ゲームの間120秒を超えないインターバルを認めます。
5. 選手は、競技規則第16条第5項(1)により、試合中アドバイスを受けることができます。
6. プレーの中断については、プレーヤーの責任でない状況によって必要とされるならば、主審は必要と思われる間を、また、特別な状況下では、レフェリーが主審にプレーを中断するよう指示することがあります。
7. 審判員の判定に対して疑問のある場合は当該プレーヤーが、団体戦の場合は当該プレーヤーと監督に限り「質問」することが認められます。ただし、「抗議」や「異議」であってはなりません。